

令和2年7月臨時教育委員会会議録

日 時	令和2年7月28日(火) 午前9時～午前11時47分
場 所	秦野市役所本庁舎3階講堂
出席委員	教育長 内田 賢司 教育長職務代理者 片山 恵一 委員 高橋 照江 委員 飯田 文宏 委員 牛田 洋史
欠席委員	なし
委員以外 の出席者	教育部長 佐藤 直樹 教育指導課課長代理 安藤 淳 教育総務課長 守屋 紀子 教育指導課指導主事 松岡 文宏 教育指導課長兼 教育指導課指導主事 吉田 将 教育研究所長 近藤 順子
傍聴者	20名
会議次第	<p>7 月 臨 時 教 育 委 員 会 会 議</p> <p>日 時 令和2年7月28日(火) 午前9時</p> <p>場 所 秦野市役所本庁舎3階講堂</p> <p>次 第</p> <p>1 開 会 2 議 案 (1) 議案第18号 令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について (2) 議案第19号 令和3年度に使用する小学校の教科用図書の採択について (3) 議案第20号 令和3年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について 3 その他 4 閉 会</p>
会議資料	別紙のとおり

内田教育長

定刻になりましたので、ただいまより臨時教育委員会会議を開催いたします。

御承知のとおり、コロナウイルスの関係で今回この会場を広いところを選択させていただきました。傍聴の皆さんにとっては、

大変遠い位置になってしまいますが、そこの目の前にあります丸い柱は耐震補強の関係でありますので御理解をいただきたいと思っております。

それでは、お手元の会議次第に沿って進めさせていただきます。

今回の会議は、議案第18号「令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、議案第19号「令和3年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」及び議案第20号「令和3年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」の3件となります。

まず、議案第18号「令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、事務局から提案理由の説明をお願いいたします。

教育指導課長兼
教育研究所長

それでは、議案第18号「令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」の御説明をさせていただきます。

本議案は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項の規定により、令和3年度に使用する中学校の教科用図書を採択していただきたく、提案するものでございます。

本年5月の定例教育委員会会議で議決していただきました採択基本方針に従いまして、秦野市教科用図書採択検討委員会を設置し、採択に向けた調査検討を行いました。この検討委員会は、第1回を5月にコロナウイルス感染拡大防止という観点から書面にて開催をいたしまして、調査研究の進め方などについて協議をいたしました。第2回は7月3日に開催いたしまして、調査員からの教科用図書の調査研究結果の報告を受け、令和3年度に中学校で使用する教科用図書についての検討を行いました。この検討結果につきましては、報告書として教育委員会に提出され、教育委員の皆様にもお渡しさせていただきました。

本日の会議では、まず採択検討委員会の検討結果を御報告させていただきます。その後、御協議いただいたうえ、16種目それぞれ1者の教科用図書を採択していただきたいと思っております。以上です。

内田教育長

説明が終わりました。今回、教科用図書の採択に当たりまして、教育委員会宛て意見書が1件、要請書が3件提出されております。意見書1件につきましては定例教育委員会会議で報告させていただきましたので、その後に届きました要請書3件につきましては、事前に配布しましたとおりですので、御確認をお願いしたいと思います。

それでは採択の進め方ですけれども、まず、中学校で使用する

教科用図書について種目ごとに事務局より説明を行いまして、それを受けて教育委員の皆さんで協議をしていただきまして、その後、記名による投票を行い、得票数が一番多かった1者に決定するという方法で進めてまいりたいと思いますけども、いかがでしょうか。よろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、委員の皆様には既に教科書を事前に御覧いただいておりますので、各教科について既にそれぞれの委員は採択すべき教科書を考えておられるとは思いますが、事務局の説明を聞いたうえで意見交換、議論をしていただきまして、投票で決定をいたしたいと思っております。

なお、票が割れた場合、最も多い得票でも過半数を超える3票までに至らなかった場合には、再度の意見交換、議論をしていただきまして、再投票を行うということで実施したいと思っておりますが、いかがでしょうか。よろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、投票するということになりましたので、立会人を指名したいと思っております。片山教育長職務代理者に立会人をお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、片山委員に立会いをお願いをいたします。また、すべての種目が完了した時点で第18号議案をお諮りいたし、議決するというにいたしたいと思っております。それでよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、議事に入ります。

教育指導課長兼
教育研究所長

最初に国語から審議をいたします。

国語についてお願いいたします。

国語は、発行者が4者になります。

教科用図書採択検討委員会からの主な意見ということで御報告させていただきます。

東京書籍は論理的な言葉を培うために巻末で3年間の繋がりを示し、上手にまとめられている。

光村図書では、学習のための手引きが設けられており、学習過程が明示されている。

三省堂は学習項目ごとに色分けされており、見た目でも分かりやすい。

教育出版は、表現活動に活用できる言葉が学年ごとの教材と関連付けてまとめられている。

内田教育長

以上です。

教育指導課長から説明がありましたけども、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

飯田委員

秦野市でも読書の推進を行っているのを承知しています。そういった観点から見させていただきました。中でも東京書籍は、調査研究の報告にもありましたが、本を楽しもうのリード文で分かりやすく本の内容をまとめて紹介しているところが、私も魅力的だと思いました。

そしてまた、教育出版では「広がる本の世界」ですか、この中で、本のあらすじを吹き出しで紹介していて、本を読んでもみたくなるような紹介の仕方になっているなというふうに思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございます。飯田委員から読書の推進という話がありましたけれども、秦野でも如実に読書離れというのが進んでいるとも言われていますので、生徒が本を読みたくなるような工夫がされた教科書というのは、ひとつ大切な視点かなというふうに思っております。そういう意味では、教育出版や東京書籍は、紹介されている本の冊数も多いようです。

高橋委員

その他、委員の方々の御意見いかがでしょうか。

今、飯田委員の方から東京書籍についてのお話が出ましたけれども、私も東京書籍は学習のポイントや学習の流れが見やすくまとめられているというふうな印象を受けました。これは、先生方も使いやすいし、生徒にとっても分かりやすいのではと思っております。以上です。

片山委員

先生方が使いやすいということを言われたのですけれども、光村図書も学習の仕方が丁寧に書いてあるところが魅力的だと感じました。

取り上げられている題材についても、各学年の発達段階に応じたものが取り上げられて、非常に適切かなというふうにと感じました。

一方、東京書籍は手紙の書き方が非常に丁寧に説明されていて、全体的に生活に役立つ資料が多いように感じました。以上です。

牛田委員

そうですね。私も東京書籍について触れていきたいと思いますが、東京書籍の巻末にある「言葉を広げよう」というようなページがあるのですね。生徒にぜひ身に付けてほしい、知っておいてほしい言葉が豊富に整理されていて、これから成長していくにつれて、話したり書いたりする、そういった場面で語彙力が豊かに

内田教育長

なってくると、いわゆる生活にも広がりが増えてくるような、そんな気がするのですね。そういった意味においては、こういった形で細かいことですが、分かりやすく言葉を整理されているというのは、とても理解しやすいなど、こんなふうに感じました。

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、特に御意見がないようですので、投票に移りたいと思いますが、よろしいでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、国語について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「光村図書」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、国語につきましては、東京書籍4票、光村図書1票、以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

今の結果報告によると、東京書籍が4票、光村図書が1票ということでございます。

開票の結果として、国語につきましては東京書籍に決定をいたしました。よろしく願いをいたします。

内田教育長

続いて、書写について審議をいたします。

教育指導課長兼
教育研究所長

事務局から説明をお願いいたします。

書写の発行者は、4者になります。

書写につきましては、次のような意見が出されました。

どの出版社も国語の教科書との関連を意識した作りとなっている。

東京書籍や教育出版は課題解決型の単元展開がはっきりとした書面構成となっている。

光村図書は書写ブックが用意されており、家庭学習にも生かせる形となっている。

教育出版や三省堂は文字が小さいように感じる。

以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

教科書を出していただけますか。

—教科書配布—

内田教育長 以上で説明が終わりましたがけれども、御意見、御質問等があればお願いしたいと思います。

高橋委員 大人になるにつれて、早く書いたりメモをしたりするなどの機会が増え、行書を使うという場面も多くなるかと思えます。東京書籍の場合は楷書と行書の使い分けの説明がありました。学んだことをどのような場面で生かせばよいか、分かりやすく記載されているのが良いと思えました。以上です。

牛田委員 今、高橋委員の方から、東京書籍の関係で学んだことをどのような場面で生かせばよいかという、そういう形が分かりやすく整理されているようなお話がありましたが、私もそこに繋がるのですけれども、東京書籍は「生活に広げよう」のコーナーが学年ごとに複数設けられているのですね。そういった意味で、また目次からも非常に見やすい作りになっているなど、そんな感想を持ちました。

高橋委員 今の牛田委員の意見についてなんですけれども、やっぱり店頭案内とか案内標識など、身の回りの表現から文字文化を知るためのページまで設けられているというところもいいなと思えました。

片山委員 東京書籍ですけど、一般的な時候の挨拶の他に二十四節季が取り上げられていまして、生徒さんが大人になったときに必要な基本を大切にしているような教科書だなというふうに感じました。

また、教育出版はエアメールの書き方が掲載されていて、これは他にない特徴だと思えました。以上です。

飯田委員 私は、ちょっと別の視点からですけど、どの出版社も実物大の書き初めの部分を見比べてみました。三省堂は書くときの姿勢が写真で示されていました。教育出版と東京書籍は、それに加えて筆の持ち方が示されていました。そしてまた、東京書籍の方は筆と鉛筆の持ち方の違いを正面から載せてある写真があるのですが、生徒にとっては写真等で分かりやすく示されていたほうが、実際に書くときに実践することができるのかなと思えました。以上です。

内田教育長 ありがとうございます。

先ほど、教科書の見やすさというお話がありましたが、小学校の教科書を採択するときに「とん、すー、ぴた」という表記がされていたのを思い出しまして、見やすくわかりやすいといった御意見がありましたけれども、中学校の教科書にも、そういつ

た記載がされているということを確認しております。

飯田委員の御意見のように、生徒にとっての使いやすさも大切なのではないかなというふうに思っております。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいでしょうか。

—異議なし—

内田教育長 それでは、書写について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長 それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長 開票の結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、書写につきましては、東京書籍5票、以上です。

内田教育長 ありがとうございます。

東京書籍が5票という結果でございました。

それでは、開票の結果として、書写につきましては東京書籍に決定をいたしました。よろしく願いをいたします。

引き続きで、社会科地理的分野について審議をいたします。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長 社会科地理的分野の発行者は、4者になります。

検討委員会の主な意見といたしましては、どの教科書にも2次元コードが設けられている。

東京書籍は知識や技能を生徒自身がすぐに確認することができるような紙面構成となっている。

グラフや写真について、帝国書院は種類が豊富に、教育出版は大きく掲載されている。

日本文教出版は、「考えるカギ」などが設けられており学習内容を捉えやすい。

以上です。

内田教育長 ありがとうございます。

以上で説明が終わりましたが、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

片山委員 まず、どの教科書も非常に工夫されて作られているという感じが読み取れました。

学習内容もそれぞれ学習課題が明記されていて、どういった視点で学習を振り返ればよいのかが分かるようになっています。こ

のようになっていきますので、生徒にとっては非常に理解しやすい作りになっているように感じました。

飯田委員

特に帝国書院は、随所に技能を磨くという地理学習のための基礎技能を身につけるための箇所がたくさんありまして、親切的教科書だなという印象を受けました。以上です。

調査員の報告ですと、課題やまとめ方が明確になっているという点についてですが、各教科書、問題解決に重点を置いた教科書の作りになっているという報告がされていまして。

そして今の片山委員から生徒にとってというお話がありましたが、教育出版には「宇宙からとらえた地球」というページが設けられていまして、より広い視点から日本を捉えられて、生徒にとって日本の様子を捉えやすいのではないかと感じております。そしてまた、世界の夜間の様子、それを表した衛星写真などもあって、特徴が表れて本当に面白いなと感じました。以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

指導する先生方の教えやすさといえますか、指導の仕方、教えやすさ、そういう点での見方はどうなのでしょうかね。御意見があれば、お願いしたいと思います。

牛田委員

今、教育長の方から、指導する先生の教えやすさからという視点で教科書を見てみたらどういうふうな感想を持つかというような、御指摘がありましたけれども、片山委員もおっしゃっていましたが、どの出版社も非常によく工夫されていて、教科書の使い方とか学習の仕方とか、どういうふうに影響してくるのかとかという、そういうふうなことが、とても丁寧に書かれているなど、そんな感想を持ちました。その中で特に帝国書院は、単元や本文ページごとの学び方が、しっかりと丁寧に記載されていて、教師側にとっては、とても指導しやすいのではないかなど、そういった感想を持ちました。

また、別の観点からですけれども、帝国書院は防災に力を入れているように感じたのですね。最近の大雨、それから地震や津波なども含めまして、防災への危機意識は高めていくことは、とても大切なことだと思いますので、そういった点においては、帝国書院はとても力を入れて、このページを組まれているなど、そんな感想を持ちました。以上です。

高橋委員

調査員の報告を見まして、グラフや写真を比較しながら教科書を見てみたのですけれども、報告にあったとおり、確かに教育出版は大きく掲載されていて見やすい印象があります。また、帝国書院は指導する先生が補足の資料などをわざわざ探さなくても、

内田教育長

十分な写真や資料が設けられているっていうふうに感じられました。どちらにもそれぞれ良さがありますが、私は帝国書院の方が指導はしやすいのかなという印象を持ちました。

ありがとうございました。

指導の仕方も大事な点かなというようなことを思いました。他にいかがでしょう。よろしいでしょうか。それでは、投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、社会科地理的分野について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を御報告させていただきます。

片山教育長職務代理「帝国書院」、高橋委員「帝国書院」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「帝国書院」、内田教育長「帝国書院」、社会科地理的分野につきましては、帝国書院4票、教育出版1票、以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

開票結果が、帝国書院が4票、教育出版が1票ということでございます。

開票の結果として、社会科地理的分野につきましては帝国書院に決定をいたしました。よろしくお願いをしたいと思います。

それでは続いて、地図について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

地図の発行者は、2者になります。

主な意見といたしましては、帝国書院は、複数の作業箇所が示され、生徒に技能的な力を身に付けさせるうえで使い勝手が良い。

東京書籍は、歴史・公民分野とも関連付けながら活用ができる作りとなっている。

以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

地図、出していただけますか。

—教科書配布—

説明は以上ですけれども、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

牛田委員

私は2者を見比べてみたのですが、やはり目に留まったのは帝国書院の地図帳です。版型がA4になっていて、1ページ当たりの

飯田委員

情報量がとても多くて、地図も大きくて、非常に見やすい作りになっているなというふうな感想を持ちました。ただ、やはり版型が大きい分、重さもありまして、保管とか、あるいは持ち運びについては、少しその取扱いについては検討をしていく必要があるのかなと、そんな感想を持ちました。

検討委員会の報告の中にもありましたが、帝国書院には技能的な力を身に付けることができるように作業箇所、地図活用が多く設けられていて、使い勝手が良いということでした。私も地図帳を見比べてみたのですが、そのような印象を受けました。以上です。

高橋委員

東京書籍を見ますと、先ほどの教育指導課長の説明のとおり、歴史や公民分野との関連を意識した作りになっているのかなという印象を受けます。「歴史・公民マーク」などは分かりやすく、とても良いと感じました。

帝国書院は、鳥瞰図を用いてイラスト資料などを掲載することで、情報が焦点化され、生徒の関心を高めるといえると思います。以上です。

片山委員

私は、両者とも巻頭に設けられている現代の諸課題について紹介されているページを注目して見てみたのですが、東京書籍は地図を上手に使いながら分布などを示していてシンプルにまとまっているなという印象を受けました。扱っている内容も非常に豊富だと思いました。

一方、帝国書院の方は、大きな版型ですので、それを生かして写真などが豊富に掲載されていて、視覚的に環境問題などの現代的な諸課題が理解しやすい作りになっているように思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

両者の地図帳を私も見て、50年以上前に見た、もちろん綺麗になっていますし、はっきり違うのですが、中を見てみますと、非常に懐かしいという印象を受けました。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。よろしければ、早速、投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

内田教育長

—異議なし—

それでは、地図について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

内田教育長

—投票—

それでは、開票をお願いします。

教育指導課長兼 教育研究所長	<p>—開票—</p> <p>開票結果を御報告させていただきます。</p> <p>片山教育長職務代理「帝国書院」、高橋委員「帝国書院」、飯田委員「帝国書院」、牛田委員「帝国書院」、内田教育長「帝国書院」、地図につきましては、帝国書院5票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>開票の結果、帝国書院が5票でございます。</p> <p>地図につきましては、帝国書院に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。</p> <p>それでは、引き続き、社会科歴史的分野について審議を行いたいと思います。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>歴史の発行者は、7者になります。</p> <p>主な意見といたしましては、東京書籍、帝国書院、学び舎は導入部の写真が大きく、生徒がイメージを持って学習するうえで重要だと思われる。</p>
内田教育長	<p>日本史と世界史を関連付けて捉えられるよう、山川出版では世界を通観するイラスト、日本文教出版では世界を体感できるような表示、育鵬社では「このころ世界は」というページが設けられている。</p> <p>帝国書院、日本文教出版、教育出版にはページに年表が掲載されており、世界史の学習に際して日本の出来事が捉えやすくなっている。</p> <p>以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p>
飯田委員	<p>以上で説明が終わりましたが、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。</p> <p>まず、教育出版、そして育鵬社は、秦野と大変縁のある二宮尊徳について取り上げられていました。育鵬社については報徳思想などが詳しく取り上げられていました。</p>
牛田委員	<p>そしてまた、年表も見比べてみました。教育出版の年表は巻末に1枚見開きで、現代の出来事が一目で分かって、いつの時代にどんなことがあったか、本当に分かりやすいなという感想を持ちました。以上です。</p> <p>私は、歴史の発行者7者あったのですが、どの教科書も、とても歴史への好奇心を高められるような、そんな工夫が見て取れました。そういった中で、東京書籍と帝国書院について意見を一言述べたいと思います。</p>

片山委員

まず、東京書籍は章ごとに学習のまとめが多く設けられていて、丁寧にまとめられているなという、そんな感想を持ちました。それから、帝国書院の方は、最後の巻末にある人物や事項の索引、年表、これがとても見やすいという、そういうふうな印象を持ちました。以上です。

私も、いずれの教科書も非常に工夫されていて、生徒さんたちが興味を持って勉強できるには、どうしたらいいかなということに気を使っておられるというような感じがしました。

特に帝国書院には「タイムトラベル」というページがあり、これはページ見開きと言うのですかね。その時代が絵になっているもので、それを基に学習していくという作りになっていますので、歴史学習に苦手意識を持つ生徒さんにも取り組みやすくなっているように思いました。以上です。

飯田委員

歴史というのは、見たり、もちろん体験したことはないわけですので、掲載されている写真、そして資料というのは、本当に大切になってくるような気がします。以上です。

高橋委員

今の飯田委員の意見に付け加えてなんですけれども、歴史を学習するうえで、やはり日本史と世界史の繋がりというのが大切になってくると思います。各者とも本当によく工夫されているのですけれども、東京書籍は日本の歴史を学ぶときに世界で何が起きていたか捉えやすくなっているような感じを受けました。以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

先ほど、地理の教科書のときに、課題解決型の作りという話があったのですが、歴史についてはいかがでしょうか。

牛田委員

今、学習課題、解決課題に関連してということですが、どの教科書も振り返りの活動を設けるなどして、大変丁寧に工夫されているなと感じました。中でも、そういった学習課題の明示という点においては、まず、帝国書院、これは教科書の学習課題の提示の仕方とか、振り返りの内容などが難しすぎることもなく、かといって簡単すぎるでもなく、程よい加減の中で編集されているかなと感じました。東京書籍や教育出版は、振り返りの中で求められている内容が他誌に比べてレベルが少し高いかなと、そんな印象を持ちました。

高橋委員

私は、東京書籍や帝国書院は単元や各節ごとに探求していく学習課題が分かりやすくまとめられていて良いという印象を持ちました。生徒にとっても指導する先生方にとっても分かりやすいのではないのでしょうか。以上です。

内田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>分かりやすくという点も大事だなという話ですね。</p> <p>他にいかがですか。よろしいでしょうか。それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p>
内田教育長	<p>それでは、社会科歴史的分野について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。</p> <p>—投票—</p> <p>それでは、開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>開票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「帝国書院」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「育鵬社」、牛田委員「帝国書院」、内田教育長「帝国書院」、社会科歴史的分野につきましては、帝国書院3票、東京書籍1票、育鵬社1票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>開票結果として、帝国書院が3票、東京書籍が1票、育鵬社が1票でございます。</p> <p>開票の結果として、社会科歴史的分野につきましては帝国書院に決定いたしました。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>続いて、社会科公民的分野について審議を行いたいと思ひます。事務局から説明をお願いします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>公民の発行者は、6者になります。</p> <p>主な意見といたしましては、どの教科書も生徒自身の生活に繋がるような内容やグループ活動などが設定されている。</p> <p>現在は東京書籍の教科書を使っており、学習の流れが同じ方が使いやすいところもある。</p> <p>生徒が学習内容をより身近なものとして感じ、興味を持つきっかけとなる工夫がなされている教科書が良いと思う。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上、説明が終わりましたが、御意見、御質問がありましたらお願ひしたいと思ひます。</p>
片山委員	<p>公民という教科ですけど、生徒たちが何を学ぶのかということについては、私もすぐには答えられない難しい問題であると思ひましたので、そういった視点から教科書を見比べてみました。どの教科書も巻頭で、公民とはどのようなことを学ぶのかということが紹介されていますが、特に日本文教出版とか育鵬社などは公</p>

民とは何かということが、しっかりと定義されていました。

その他、東京書籍は、巻頭で生徒に「これからの社会のためにできることを考えてみましょう」と投げ掛けて、巻末でその投げ掛けを振り返るような作りになっていました。これからの社会を担う生徒自身に考えてもらうようになっているところが非常に良い教科書ではないかなというふうに私は思いました。以上です。

高橋委員

今、片山委員から公民では何を学ぶのかといったようなお話がありましたけれども、公民では現代生活で起こっている様々な課題が学習対象となりますので、生徒が生活を送っていくうえでためになるような内容を、楽しく学べる工夫がされた教科書が良いのかなと思います。以上です。

牛田委員

公民の教科書が6者ということで、先ほど教育指導課長の方から、どの教科書も生徒自身の生活に繋がっていくような、そんな編集になっているような話がありました。私もそのとおりの感想を持っています。その中で、私がここで申し述べたいのが、東京書籍と日本文教出版ですが、そういった点においては、東京書籍に設けられている「もっと公民」というページがあるのですね。この「もっと公民」というページの中で、細かいことなのですが、情報技術ですとか、あるいは今、問題になっている空き家とか廃校とか、非常に面白い身近なテーマがありまして、これは是非、子どもたちにも考えさせていきたいテーマではないかな、課題ではないかなと、そんな感想を持っています。また、日本文教出版に設けられている「明日に向かって」とか「チャレンジ公民」というページもあるのですが、非常に内容が幅広く、子どもの好奇心を高めていくことができるような課題設定になっていますので、これも魅力を感じました。以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

新学習指導要領になって、主体的・対話的な学びと言われ、様々な教科書が工夫を凝らしておられる。帝国書院の「アクティブ」のページですけれども、生徒が自分から問題を解決するために考える構成になっていまして、面白い作りだなと思いました。身近な問題に主体的に関わる生徒を育成するような教科書というものがいいのかなと、そんな感想を持ったところです。

他にいかがでしょう。

飯田委員

生徒にとって身近な社会問題というふうに考えたときに、SDGsについて様々な場面でよく耳にします。そのSDGsについては、どの教科書も見開きで説明されていました。中でも、育鵬社は他者と比べて説明のための紙面を多く設けているところに特

内田教育長

徴があるのかなというふうに感じました。以上です。

ありがとうございました。

他にいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、社会科公民的分野について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「育鵬社」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「帝国書院」、社会科公民的分野につきましては、東京書籍3票、帝国書院1票、育鵬社1票です。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

開票結果が、東京書籍が3票、帝国書院が1票、育鵬社が1票ということでございます。

開票の結果として、社会科公民的分野につきましては東京書籍に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。

続いて、数学について審議を行いたいと思います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

数学の発行者は、7者になります。

主な意見といたしましては、啓林館には難易度の高い応用問題が例示されており、数研出版も別冊で示されている。

教育出版や日本文教出版、東京書籍は、ページの右側に既習内容との関連が分かりやすく明示されている。

学校図書や東京書籍、教育出版には切り取って使うことができる付録が設けられている。

大日本図書はインデックスや本文の見出しの色を変えることによって領域が分かりやすく区別されている。

以上です。

内田教育長

ありがとうございました。教科書をちょっと出していただけますか。

—教科書配布—

内田教育長

説明が終わりましたが、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

片山委員

いずれの教科書も重要な部分に色を付けたり囲みを付けたり、非常に工夫されているというような印象を持ちました。特に啓林館は文字の大きさや行列がうまくレイアウトされていて見やすい教科書になっているように思いました。また、巻末に啓林館は「自ら学ぼう」とか、「力を付けよう」とか、「学びを生かそう」というところがあるのですが、非常に説明が丁寧でよくできているようには思いました。しかし、ここだけ紙面構成が横向きとなるので、使いやすさの点ではちょっと疑問を感じた部分もあります。以上です。

飯田委員

私も啓林館についてなんですけど、表から始まる「みんなで学ぼう編」と裏から始まる「自分から学ぼう編」、そういう作りが本当に特徴的だと思いました。「自分から学ぼう編」の「力を付けよう」コーナーがあったのですが、基本的な問題から少し難しい問題、発展問題まで設けられていて、生徒自身の家庭学習の問題集としてちょうど良いのかなと思いました。秦野市でも「家庭学習ノート」を作っていて、家庭学習、家庭教育にも力を入れているので、合わせて使っていけるといいなという感想を持ちました。以上です。

内田教育長

確か小学校の教科書を採択する際にも、問題の難易度については話題になったと記憶しています。基本から応用まで、様々なレベルの問題が設けられているのは、個に応じた指導にも繋がるので必要かなというふうに思いました。

他にいかがでしょうか。

高橋委員

私も啓林館が気になっていまして、それぞれの問題に「説明しよう」とか「話し合おう」「まとめよう」など、今どんな学習活動をすればよいか分かりやすくなっているところが良いなと思いました。また、人前で発表する力や話す力、聞く力の育成も意識した作りとなっているところも良いというふうに思いました。

牛田委員

私は、数学というのは日々の学習の積み重ねの中で、また新しい課題を解決していくという、そんなふうなイメージを持っているのですね。そういった点で、この教科書ですが、7冊ありまして、読み比べをしてみたのですが、そういった点で見ますと、私は教育出版が少し目を引いたのですね。というのは、教育出版はページの横に何ページに戻れば今までに勉強した既習事項の内容が確認できるかというところの指示が書いてあります。ですから、振り返りしやすい。振り返りをしながら、数学の勉強を深めていく。そういうような編集構成になっているのかなというところに魅力を感じました。

内田教育長

また、別の視点なのですが、大日本図書は「社会にリンク」というページがありまして、数学という教科書の中で社会にリンクというのは非常に新鮮さを感じました。仕事の中でどのように数学が活用されているのかというのが書かれていまして、これも数学的な考え方と生活が結び付けられていて少し魅力を感じました。以上です。

ありがとうございました。他にいかがですか。特によろしいですか。

それでは、投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、数学について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票結果です。

片山教育長職務代理「啓林館」、高橋委員「啓林館」、飯田委員「啓林館」、牛田委員「教育出版」、内田教育長「啓林館」、数学につきましては、啓林館4票、教育出版1票、以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

開票した結果、啓林館が4票、教育出版が1票ということでございます。

数学につきましては啓林館に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。

それでは、引き続いて、理科についての審議を行いたいと思います。

教育指導課長兼
教育研究所長

事務局から説明をお願いします。

理科の発行者は、5者になります。

検討委員会で出た主な意見としましては、問題の難易度については、大日本図書や教育出版、啓林館に難しい問題が掲載されている。

生徒が苦手としている科学分野・電気分野につきましては、啓林館が分かりやすいように思う。

大日本図書や啓林館は情報量が多く、説明の丁寧さや自主学習に適している。

東京書籍に設けられている「科学の本棚」は、生徒が学習後に興味を広げることができるのが良いと思う。

内田教育長

学校図書は図が大きく視覚的に分かりやすい紙面構成となっている。

以上です。

ありがとうございました。教科書を出してもらえますか。

—教科書配布—

内田教育長

説明が終わりましたので、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

高橋委員

学校図書はレポートやノートの書き方が丁寧に説明されていて、実験の流れも非常に丁寧にまとめられている印象を受けました。サイエンスカフェなども設けられていて理科があまり得意でない子への配慮も感じられました。

啓林館は写真が大きく載っていて、子どもの関心を高めやすい作りになっているのかなと思います。章末に設けられている「基本のチェック」や単元末の応用問題などは、学習のまとめ・振り返りをする際に使いやすいかなと思いました。また、「サイエンス資料」もためになる内容が掲載されていて良いと思います。以上です。

牛田委員

今、高橋委員から啓林館についてのコメントがありましたが、やはり私も啓林館の写真がとても鮮明で綺麗で、生徒の学習意欲を高めやすいページであると、構成になっているかなという感想を持ちました。

それから、理科の教科書は5者ありましたが、比較的、私も理科が得意な方ではないのですが、子どもがつまずきやすい科学だとか、あるいは電気の部類、この辺のところの解説、説明がどうかということ、読み比べをしてみたのですが、その中で啓林館の解説が、とても丁寧に分かりやすいかなと、そんな印象を持っています。

それから、別の視点ですが、理科で大事なポイントというのがいくつかあって、そのポイントというのがしっかり押さえられてページ構成や編集がされているなという感想を持ったのが教育出版です。

教育出版は、学習の組み立て方がとても丁寧で、「疑問」「課題」「仮説」、それから「計画」「実験」「考察」「結論」と、こういった流れが非常に大切なポイントになってくると私は思いますので、そういった置き方、流れが、組み立て方が子どもたちにとって、とても学習しやすい、理科の好奇心を高めていくような、そんなページ編成、ページ構成になっているなという感想を持ちました。以上です。

片山委員	<p>大日本図書は図が綺麗で見やすいように感じました。また、巻末に理科に必要な算数とか数学の知識がまとめられていまして、理科好きの子にとっては有用な資料なんだろうなというふうに思いました。</p> <p>教育出版は「ハローサイエンス」「科学者列伝」、啓林館はさまざまなコラムなどを設けて、要するに理科が苦手な子に対する配慮が非常に感じられて、この2者に対しては非常に好感が持てました。以上です。</p>
飯田委員	<p>先ほど、教育指導課長の説明にもありましたが、大日本図書、そして啓林館は、他者と比べて大変情報量が多くなっているということでした。私も、各社見させていただきまして、そう思いました。「生徒の自学自習」、そういうのを促すには本当に良い教科書なのかなと思いました。以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。他にいかがでしょう。よろしいですか。</p> <p>それでは、投票に移りたいと思いますが、移ってもよろしいですか。</p> <p>—異議なし—</p>
内田教育長	<p>それでは、理科について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。</p> <p>—投票—</p>
内田教育長	<p>それでは、開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>投票の結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「啓林館」、高橋委員「啓林館」、飯田委員「啓林館」、牛田委員「啓林館」、内田教育長「大日本図書」、理科につきましては、啓林館4票、大日本図書1票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>開票の結果として、啓林館4票、大日本図書1票ということになりました。</p> <p>理科につきましては啓林館に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。</p> <p>続いて、音楽一般について審議を行います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>音楽一般の発行者は、2者になります。</p> <p>検討委員会での主な意見は次のようになりました。</p> <p>どちらの教科書も、表現活動や鑑賞教材、創作について学年に応じてレベルを上げていくような作りとなっている。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	

内田教育長

生徒が関心を持ちやすく、取り組みやすいような新しい曲が両者で取り上げられている。

以上です。

ありがとうございました。音楽は2者ですね。ちょっと出してもらえますか。

—教科書配布—

説明が終わりましたので、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

片山委員

今、検討委員会の御意見の中にもあったのですけれども、いずれの教科書も非常にうまく作られていて、大きな差があまり感じられませんでした。

ただ、個人的な意見ですけれども、教育芸術社では、リズムゲームやリズムアンサンブル、リズムチャレンジなどゲーム感覚で取り組める活動が掲載されていますので、全ての生徒が音楽に親しめるような工夫がなされているというような印象を受けました。

牛田委員

音楽の一般の教科書2者ありまして、今、教育指導課長からも話がございましたが、検討委員会では意見の中の1つとして、生徒が関心を持ちやすく、取り組みやすいという、こんなふうなコメントがありましたが、私も2者ともに、そういった内容構成になっているなというふうな印象を持ちました。

その中で教育芸術社ですが、今活躍している狂言師ですとか、あるいはチェンバロ奏者、あるいは民謡歌手など、片山委員も今おっしゃっていましたが、生徒が音楽に親しめるようなさまざまな工夫がされているなど、こんな印象を持ちました。

また一方、教育出版は、見開きページの周りに色が付いていまして、その色の違いということで、例えば歌唱の活動なのか、あるいは創作の活動なのかということが分かりやすくなっていて、子どもたちは学習しやすいのかなと、そんな印象を持ちました。

高橋委員

教育出版は、「話し合おう」のコーナーというのがありまして、そこが良いなというふうに思いました。曲から受ける印象っていうのは一人ひとり異なりますので、話し合い、意見を交わす中で音楽的な感性を磨いていくっていう作りは魅力的だと思います。以上です。

飯田委員

私も教育出版についてなんですけど、巻頭の「学びのユニット」歌う、作る、そして聞くが分かりやすくて、とても良いなと思いました。そして、歌の活動では、どんな曲を扱うのかが一目で分

内田教育長	<p>かるようになっていて、曲ごとに学びの手がかりとなるヒントが示されているので、生徒もどこに気を付けて学んだらよいのか、本当に分かりやすいように思います。以上です。</p> <p>ありがとうございました。他にいかがでしょう。よろしいですか。</p> <p>投票に移りたいと思いますが、投票に移ってよろしいでしょうか。</p> <p>—異議なし—</p>
内田教育長	<p>それでは、音楽 一般について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いいたします。</p> <p>—投票—</p>
内田教育長	<p>開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>開票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「教育芸術社」、高橋委員「教育出版」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「教育芸術社」、内田教育長「教育出版」、音楽一般につきましては、教育出版3票、教育芸術社2票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>開票の結果、教育出版が3票、教育芸術社が2票でございます。音楽一般につきましては教育出版に決定をいたしました。よろしく願いをいたします。</p> <p>続いて、音楽器楽合奏について審議を行いたいと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>音楽の器楽合奏につきましては、発行者は2者になります。検討委員会での主な意見は次のようです。</p> <p>どちらの教科書も、リコーダーに関する指導は段階的に指導内容が記載されており、内容も網羅されている。</p> <p>音楽一般の教科書とリンクしている部分があるので、同じ教科書の方が指導しやすい。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>教科書を出してもらえますか。</p> <p>—教科書配布—</p>
内田教育長	<p>説明が終わりましたが、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。</p>
飯田委員	<p>今、教育指導課長の説明の中にもありましたが、私もリコーダーの解説の部分を見比べてみました。教育出版の方は、見開き1ページの中に名称、そして姿勢などについてまとめられていて、</p>

片山委員

ページをめくらなくても大切なところが一目で分かるのが生徒たちにとっても見やすいのかなという印象を受けました。以上です。

2者の楽譜を見比べてみると、教育芸術社は非常にシンプルな印象を受けました。これ、個人的ですけども、同じ情報であれば、ありすぎるよりは、すっきりとしていて好感が持てるなという印象を持ちました。以上です。

牛田委員

私も、一般的な感想になってしまうのですが、今、片山委員もおっしゃっていましたが、教育芸術社は全体的にとってもシンプルな紙面構成で見やすいなというふうな印象を持ちました。また、教育出版の方は、説明が丁寧ですが、その分、少し情報量が多いのかなと、そんな印象を持ちました。以上です。

高橋委員

教育出版は、写真が豊富で大きめに掲載されているので、楽器の細かいところまで見えて良いなと思いました。実際に楽器に触れる際に、隣に置いて見比べながら活用ができると思います。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

他いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですね。

—異議なし—

内田教育長

それでは、音楽器楽合奏について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

開票結果の報告をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票の結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「教育芸術社」、高橋委員「教育出版」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「教育芸術社」、内田教育長「教育出版」、音楽器楽合奏につきましては、教育出版3票、教育芸術社2票、以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

開票の結果、教育出版3票、教育芸術社2票でございます。

音楽器楽合奏につきましては教育出版に決定をいたしました。よろしく願いをいたします。

続いて、美術について審議を行いたいと思います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

美術の発行者は、3者になります。

検討委員会での主な意見といたしましては、日本文教出版は3

分冊になっており、図版が大きく掲載されている。また、美術を身近に感じる工夫がされている。

光村図書はトレーシングペーパーや和紙を再現した用紙が綴じこまれており、本物の風合いを感じることができる工夫がされている。

開隆堂は巻末の学びの資料において技法の説明や用具の使い方が詳しく説明されている。

以上です。

内田教育長

ありがとうございます。教科書を出してもらえますか。

—教科書配布—

内田教育長

説明が終わりましたので、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

片山委員

3者の教科書のいずれも漫画を取り扱った教材があつて、生徒にとっては身近な内容から美術の面白さに触れることができる工夫がなされていると思います。

ただ3者を比較してみますと、先ほどお話しにもありましたけど、日本文教出版だけが三分冊にしたこともあつて、資料が充実しているような印象を受けました。以上です。

牛田委員

私も、今、片山委員から話がありましたけど、日本文教出版が三分冊になっているというところ、非常に軽くて扱いやすいなという、そんな印象を持ちました。また、三分冊になっていますので、全体的にも写真や絵が大きくて、とても見やすいなということも感じました。

それから、これ、私の個人的な見解なのか、1年生の日本文教出版の表紙、フェルメールの写真がとてもインパクトがあつて、美術の魅力が本当に強く伝わってくる、そんな印象を持ちました。以上です。

内田教育長

鑑賞の観点からも、今、牛田委員からインパクトという話がありましたけど、写真や絵の見やすさということも重要なのかなと思いました。他にいかがでしょう。

飯田委員

先ほど教材の話が片山委員の方からあつたかもしれないのですが、開隆堂には錯視を題材にした教材がありました。私も、ついつい見入ってしまう面白さが魅力的だなと思いました。題材の面白さが、生徒の興味や、そして関心を引き付けるのではないかなと思っております。以上です。

高橋委員

開隆堂は比較的今話題になっているような芸術家とかデザイナーの方々を通して美術の魅力に迫っていく作りになっているところが面白いなと思いました。

内田教育長

また、日本らしさって何だろうって考えたときに、開隆堂は金箔や墨を使った表現といったところを浮世絵とともに大きく取り上げていて、日本らしさを生かした美術の魅力を伝える内容になっているところが良いと思います。また、ジャポニズムは広く世界に影響を与えたので、日本の良さっていうものを生徒に伝えることができるような教科書が良いと思います。以上です。

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、美術について投票を行います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いいたします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「日本文教出版」、高橋委員「開隆堂」、飯田委員「開隆堂」、牛田委員「日本文教出版」、内田教育長「日本文教出版」、美術につきましては、日本文教出版3票、開隆堂2票、以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

開票の結果、日本文教出版が3票、開隆堂が2票ということでございます。

美術につきましては日本文教出版に決定をいたしました。よろしくお願いをしたいと思います。

内田教育長

引き続き、保健体育について審議を行います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

保健体育の発行者は、4者になります。

検討委員会では、学研は用語の解説やコラムが豊富で、得られる知識量が多い紙面構成となっている。

東京書籍と大修館はユニバーサルデザインやUDフォントが使用されている。

大修館は神奈川の写真が多く掲載されており、感染症についても詳しい内容となっている。

大日本図書は、教科書本文と資料が左右ではっきりと分かれており、生徒にとっては取り組みやすい。といった意見が出ています。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。教科書をちょっと出してください。
—教科書配布—

内田教育長

説明が終わりましたが、御意見、御質問があればお願いしたい
と思います。

牛田委員

私は大修館についてなんですけれども、今、教育指導課長から
検討委員会での主な意見ということで紹介がありましたが、大修
館の教科書は神奈川県の写真が多く使われていて、そしてまた本
市、秦野の水無川増水注意の写真も掲載されていました。子ども
にとっては、非常に興味を抱かせる1つの材料になっているのか
なというふうに思いました。また、学習のまとめ方も、ドリル的
な扱いになっていまして、これも学びやすいのかなと、そんな感
想を持ちました。

加えて、巻末や巻頭、それからコラム等についても、それぞれの
教科書の内容を読み比べてみたのですが、東京書籍と大修館の
教科書はとても内容が豊富で、目次にも記載がありますので、と
ても扱いやすいかなと、そんな感想を持ちました。以上です。

高橋委員

私も東京書籍は巻末の資料が大変良くできているなというふう
に思いました。性の多様性とかインターネット使用の際のトラブ
ルなどが書かれていて、生徒にこれから知っておいてほしいよう
な内容が書かれていると思います。

また、大修館は、ストレスへの対処の仕方や生活習慣が健康に
与える影響をはじめとして、喫煙、飲酒、薬物使用防止について
も丁寧に記述されているなと思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

冒頭申し上げましたが、このコロナの関係で、報告の中では、
大修館が感染症について詳しく書かれているとありましたけど
も、その辺はいかがだったでしょうか。

飯田委員

どの教科書も感染症については書かれていました。中でも大修
館は他者と比べて具体的に、そして多くのページを割いて記載さ
れていると思います。

今後、生徒たちが感染症について学び、そして知識を身に付け
ていくことが大変必要だと、私も今、感じております。以上です。

片山委員

大修館は「感染症のリスクを減らす3つの対策」とか「咳エチ
ケット」など、最近よく報道で耳にする言葉、内容が記述されて
いますので、生徒さんたちには親しみやすいのではないかなとい
うふうに思いました。

あと、検討委員会の意見にもあったのですが、大日本図書
は見開きの左側が記述、右側が資料という風にはっきり分かれて

内田教育長

いて、これは非常に生徒にとって使いやすい構成の教科書になっているのではないかという印象を受けました。以上です。

ありがとうございました。他に御意見ございましたか。よろしいでしょうか。

それでは、投票に移りたいと思います。投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、保健体育について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼
教育研究所長

開票結果を御報告いたします。

片山教育長職務代理「大修館」、高橋委員「大修館」、飯田委員「大修館」、牛田委員「大修館」、内田教育長「大修館」、保健体育につきましては、大修館5票、以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

開票の結果、大修館が5票でございます。

保健体育につきましては大修館に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。

それでは、引き続いて、技術について審議を行いたいと思います。

事務局から説明をお願いします。

教育指導課長兼
教育研究所長

技術の発行者は、3者になります。

検討委員会での主な意見といたしましては、プログラミングは各社詳しく取り扱われているが、教育図書は多彩な視点で本格的な内容が掲載されている。

東京書籍は「技術分野のガイダンス」が設けられており、身の回りと技術の学習内容を結び付ける工夫がされている。

開隆堂は他者と比べて掲載されている実習例が多い。

以上です。

内田教育長

ありがとうございます。教科書を出していただけますか。

—教科書配布—

内田教育長

説明が終わりましたがけれども、御意見、御質問があればお願いしたいと思います。

飯田委員

私は教育図書のハンドブックが大変良くできていると思いました。改めて見ましたが、内容も幅広く詳しく書いてあるので、教科書と併用して、うまく使えるのかなというふうに思いました。

片山委員

そしてまた、生徒が卒業した後も役立ちそうなハンドブックではないかなと思いました。以上です。

私も、この教育図書の手ブックは非常に良いと思いました。学習が生活と密接に結び付いている好例だと思います。技術家庭だけではないですけれども、生活と結び付けて学習することは、やはり念頭に置いて良いのではないかなというふうに思いました。以上です。

牛田委員

私も3者を読み比べてみての感想ですが、先ほどの教育指導課長からの検討委員会での意見と重なるのですが、東京書籍「技術分野のガイダンス」が設けられているというのが、このガイダンスの内容がとても充実をしていて、初めて技術を学ぶ中学1年生にとっては、とても親切な取組かな、内容編成になっているなというふうに思いました。

また、東京書籍と開隆堂は巻末にコンピュータの基本操作が掲載されているのですが、特にその中で目を引いたのが、東京書籍のコンピュータの基本操作の中で文字入力の仕方がとても丁寧に分かりやすく解説されているので、子どもたちにとっては、とても学びやすいかなと、そういう印象を持ちました。

高橋委員

本当に3者ともとても分かりやすい内容で大変迷っているのですが、これからの社会では生徒がコンピュータに触れる機会が増えてきて、文字入力について大切になってくると思います。東京書籍のように分かりやすい説明がついているのは私も大切だと思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

今、GIGAスクール構想ということで、国が当初5年間の予定だったのが、今年度中に子どもたち1人1台のタブレット端末を整備するというので、そうした中でタブレット端末を使って、今後、学力学習状況調査なんかは紙ベースから、そういうものに移っていくような形になりますので、大切な視点かなと、そんなふうなことを思っております。他にいかがでしょうか。

それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、技術について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いします。

教育指導課長兼 教育研究所長	<p>—開票—</p> <p>開票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「教育図書」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「教育図書」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、技術につきましては、東京書籍3票、教育図書2票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>開票の結果、東京書籍が3票、教育図書が2票ということでございます。</p> <p>技術につきましては東京書籍に決定をいたしました。よろしくお願いたします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>それでは、引き続いて、家庭について審議を行います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p> <p>家庭の発行者は、3者になります。</p> <p>検討委員会での主な意見といたしましては、調理実習の流れを示す紙面構成については、横のレイアウトの方がゆとりがあって見やすい。</p>
内田教育長	<p>教育図書には、新しい新学習指導要領で示されました「蒸す」の調理法について掲載されている。</p> <p>東京書籍は、調理に関して付け合わせのメニューも掲載されており家庭での応用ができる。</p> <p>開隆堂には「調理法Q&A」が設けられており、参考になると思う。といったものが出ております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。これも教科書をちょっと出してください。</p>
内田教育長	<p>—教科書配布—</p> <p>説明が終わりましたので、御意見、御質問等があればお願いしたいと思います。</p>
飯田委員	<p>本当に3者とも食材の写真など、とても色鮮やかでとても見やすいと思いました。中でも開隆堂ですけど、見開きのページで実物大くらいの食材の写真があったりして、生徒が本当にリアルさを感じられる作りになっているのかなという印象です。</p> <p>あとそれと東京書籍ですけれども、日本の伝統的な住まいなど、住まいと気候、風土の関わりについて、よく書かれているなというふうな印象を受けました。以上です。</p>
牛田委員	<p>今、飯田委員からも話がございましたが、どの教科書も本当に丁寧によく充実したページ構成になっているなという感想を持ちました。調理実習なども、どの教科書もまるでレシピを見ている</p>

ような感じで、本当に家庭で実践していくには参考になるのではないかなというふうな感想を持ちました。その中で私が目を引いたのは東京書籍ですが、巻末に付いている「防災・減災手帳」というのがあるのですね。それがとてもよくできていて、いざというときにはどうしたらいいのかということ、そういったことが、とてもコンパクトに丁寧にまとめられていますので、参考になるのではないかなというふうに思いました。

また、子どもの視界体験眼鏡も、こういったものが付録に付いていまして、共生社会を目指していく、そういった紙面構成の工夫というのが、東京書籍さんのそういった姿勢が感じられて、これも良かったなと思います。やはり、生徒にとって実体験を伴った理解は大切なことなので、こういった工夫は評価ができるなど、こんな感想を持ちました。

片山委員

東京書籍ですけど、教科書の作りが食生活から始まるというところに特徴があるように思われます。食材を意識した単元構成となっているところが良いよいように思いました。以上です。

高橋委員

私も東京書籍については食育への意識の高さというのを感じたのですけれども、調理実習のページに付け合わせも紹介されているのが良いと思いました。また、ご飯やパンなどの重さを手秤で測るという方法なども載っていて、実生活に生きて働く内容が多く記載されているというふうな印象を受けました。以上です。

片山委員

食育とはちょっと離れてしまうんですけども、教育図書は布を扱った制作例の中にマスクが取り上げられているというふうな、今非常に時流に乗っているのかなということで生徒も取っつきやすいように思います。あと、開隆堂は各所に「先輩からのエール」というページが設けられていまして、それぞれの分野の重要性を生徒に理解してもらうための面白い工夫がなされているように感じました。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。皆さんの御意見で3者とも本当にそれぞれ良さがあって、鮮やかな写真ですとか、本当に迷うなというような思いがございます。他にいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、家庭について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いいたします。

—投票—

内田教育長	<p>それでは、開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>投票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「東京書籍」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「東京書籍」、牛田委員「東京書籍」、内田教育長「東京書籍」、家庭につきましては、東京書籍5票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。</p> <p>開票の結果、東京書籍が5票ということでございます。</p> <p>家庭につきましては東京書籍に決定をいたしました。よろしくお願いいいたします。</p> <p>引き続き、英語について審議を行いたいと思います。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>英語の発行者は、6者になります。</p> <p>検討委員会での主な意見は次のようになりました。</p> <p>三省堂の導入は生活に密着した作りになっていて良いと思う。</p> <p>光村図書のスピーキングについて繰り返し読むことができる構成になっている点について特徴がある。</p> <p>教育出版は、巻頭に絵を見ながらクラスルームイングリッシュを学べるページがあり便利だと感じる。</p> <p>東京書籍は学習内容の増加に対して版型を大きくすることで対応しているように感じる。</p> <p>啓林館は、文法のまとめ方のスタイルが統一されており、全面的に紙面構成が落ち着いていて見やすい。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。これも教科書をちょっとよろしいですか。</p> <p>—教科書配布—</p> <p>説明が終わりました。御意見、御質問があればお願ひしたいと思います。</p>
高橋委員	<p>開隆堂ですけれども、「Grammar for Communication」で、文法をまとめて取り上げるページが設けられているので、学習内容について理解しやすいと思いました。また、取り上げられている内容が生徒の関心を高めるものになっている、そこが良いと思います。以上です。</p>
牛田委員	<p>英語の発行者、6者ありますが、その中で東京書籍と三省堂について意見を述べたいと思います。東京書籍さんの巻末に設けられている「Word room」、これが視覚的に生活に役立つ英単語などを理解するという点で、とても見やすく良いなど、そんなふう</p>

な感想を持ちました。

また、三省堂も気になったのですけれども、パッと見たときに、他の教科書と比べるとイラストだとか写真がとても大きく掲載されていて、これも子どもは見やすくて喜ぶのではないかなというふうな感想。それから、小学校が教科書、英語は三省堂さんを使っていますので、やはり視覚的に慣れ親しんでいる三省堂さんの教科書が良いのかなと、そんな感想を持ちました。

飯田委員

私も小学校からの繋がりという視点で見ってみました。どの教科書も大変工夫されていて、小学校からの繋がりというのですか、それを意識した構成になっていて、本当に甲乙つけがたいと思いました。

また、指導する先生方の点から考えますと、やはり小学校で使用している教科書と同じ出版社の教科書の方が、学習方法などに繋がりがあって指導しやすいのかなという感じがしています。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。

小学校から英語を学ぶことになって、大人になって社会に出ていく子どもたちが、英語を使って話をしたり、あるいは自分の思いを伝えたりすること、これを大切にしてほしいという思いでしたけども、そういった視点からはどうでしょうか。

片山委員

光村図書には「Story Retelling」という教材が設けられていて、読解力と表現力を向上させる応用的な活動になっています。これは少しレベルが高いんですけれども、イラストを見て自分の言葉でストーリーを紹介するという形で、ちょっと難しいかなという気もします。ただ、教育長がお話しされましたように、これからは英語で発信することも大切になってきます。そのためにも、4技能の中でも話す力を伸ばすことに重きを置いている教材があっても良いと思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。

—異議なし—

内田教育長

それでは、英語について投票に移りたいと思います。投票用紙の配付をお願いいたします。

—投票—

内田教育長

それでは、開票をお願いします。

—開票—

教育指導課長兼 教育研究所長	<p>開票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「光村図書」、高橋委員「東京書籍」、飯田委員「三省堂」、牛田委員「三省堂」、内田教育長「三省堂」、英語につきましては、三省堂3票、東京書籍1票、光村図書1票、以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>開票の結果、三省堂が3票、光村図書が1票、東京書籍が1票ということでございます。</p> <p>英語につきましては三省堂に決定をいたしました。よろしくお願いをいたします。</p> <p>引き続き、これが最後になりますが、特別の教科道德について審議を行いたいと思います。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>特別の教科道德の発行者は、7者になります。</p> <p>検討委員会での主な意見は次のとおりです。</p> <p>各教科書に議論の進め方が工夫して示されているが、東京書籍が丁寧に記載されている。</p> <p>道德に関してはテーマが明確になりすぎていると生徒同士の議論が深まらないこともあるが、教育出版については詳しくない示し方がされている。</p> <p>東京書籍、教育出版、光村図書、学研は、関連する教科が分かりやすいように工夫されている。</p> <p>教育出版や日本教科書には、秦野と縁のある二宮尊徳の言葉が掲載されている。</p> <p>日本文教出版は、怒りの感情との上手な付き合い方について記載がされており良いと思う。</p> <p>以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございました。これも教科書を、数がありますが出してもらえますか。</p> <p>—教科書配布—</p> <p>説明が終わりましたが、御質問等あればお願いしたいと思います。</p>
片山委員	<p>教科に、どれでも同じだと思えますけれども、特に道德は自身で考えて、考え方などを振り返ってみることが大切だと思います。そのあたりを念頭に置いて、たくさんの教科書を見比べてみました。中でも光村図書の巻末にある「学びの記録」は、1時間の授業の学習を振り返って記録するものなのですが、学期の最後にそれらを一覧にして見て、見比べることができるというふうな作り</p>

になっていて、自分の成長等が感じられるのかなというふうなところが面白いなと思いました。

東京書籍、また学研、日本教科書は、振り返りに数値化をするような項目がありましたが、数値化ということについては少し疑問に思いました。

また、別冊が付いている教科書がいくつかありましたけれども、保管や持ち運びのことを考えると、個人的には1冊にまとまっていた方が良くかなという印象を持ちました。以上です。

飯田委員

各教科書、振り返りに工夫がされているというふうに思いました。学びの振り返りのページで言うと、私は教育出版が、学期ごと年間を通しての振り返りシートがまとまっていた、使いやすいのではないかと思います。

それと、教育出版と日本教科書、これは先ほど教育指導課長の説明の中にもありましたが、秦野と縁のある二宮尊徳が取り上げられていました。特に日本教科書の方は詳しく紹介されているなという印象を受けました。以上です。

牛田委員

私は教育出版と東京書籍について意見を述べたいと思います。

教育出版は、今、飯田委員からもお話がございましたけども、振り返りシートの内容がとてもシンプルで、生徒にとっては使いやすいのではないかなというふうに思いました。それと、各資料の最初に書かれているところの「考えたいこと」、それから最後に書かれている「学びの道しるべ」というものも簡潔にまとめられていて、非常に分かりやすいなど、こんなふうな感想を持ちました。

それと東京書籍ですが、巻末に心情円というのが付録にありまして、これは目に見えない心の動き、心情というものを可視化していく手段として有効かなと、こんなふうな印象を持ちました。以上です。

高橋委員

教科書の作り方が大きく2つに分かれるような感じがしておりまして、1つは道徳性を前面に出して分かりやすく記述した作りのもので、もう1つは生徒が感じ取って自分なりに考える題材が設けられている作りのものです。生徒や先生の視点で考えたときに、どちらが良いのかと正直迷っているようなところです。

取り上げられている題材を見ますと、教育出版は精選されていて、生徒自ら問題に気付き、考える内容になっているなと思いました。以上です。

内田教育長

ありがとうございます。他にはどうでしょう。特にございませんか。よろしいですか。

	<p>それでは、投票に移りたいと思いますが、投票に移ってもよろしいですか。</p> <p>—異議なし—</p>
内田教育長	<p>それでは、特別の教科道徳について投票を行いたいと思います。投票用紙の配付をお願いします。</p> <p>—投票—</p>
内田教育長	<p>それでは、開票をお願いします。</p> <p>—開票—</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>投票結果を御報告いたします。</p> <p>片山教育長職務代理「教育出版」、高橋委員「教育出版」、飯田委員「教育出版」、牛田委員「教育出版」、内田教育長「教育出版」、特別の教科道徳につきましては、教育出版5票です。以上です。</p>
内田教育長	<p>ありがとうございます。</p> <p>開票の結果、教育出版が5票でございます。</p> <p>特別の教科道徳につきましては教育出版に決定をいたしました。よろしく願いをいたします。</p>
内田教育長	<p>長時間ありがとうございました。</p> <p>これまで、各種目別に御審議をいただきましたが、これで全て終了となります。</p> <p>16種目全ての採択を終了いたしましたけれども、これから一覧表を作成いたしまして、それを配付したうえで、採決をいたしたいと思います。</p> <p>事務局が議案として資料を作成する時間を若干いただきたいと思いますので暫時休憩といたします。よろしく願いをいたします。</p> <p>—休憩—</p>
内田教育長	<p>それでは、準備ができたようなので再開をいたします。</p> <p>議案第18号「令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、ただいま御審議いただいたものを一覧表にいたしましたので説明をお願いいたします。</p>
教育指導課長兼 教育研究所長	<p>それでは、御審議いただいた結果を議案第18号として報告いたします。</p> <p>令和3年度に使用する中学校の教科用図書について、種目発行者の順で報告いたします。</p> <p>国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会地理的分野「帝国書院」、社会地図「帝国書院」、社会歴史的分野「帝国書院」、社会公民的分野「東京書籍」、数学「啓林館」、理科「啓林館」、</p>

内田教育長

音楽一般「教育出版」、音楽器楽合奏「教育出版」、美術「日本文教出版」、保健体育「大修館」、技術家庭技術分野「東京書籍」技術家庭家庭分野「東京書籍」、外国語英語「三省堂」、特別の教科道徳「教育出版」、以上です。

ありがとうございました。

それでは、採決に移りたいと思います。

議案第18号「令和3年度に使用する中学校の教科用図書の採択について」、原案のとおり決することで御異議ございませんでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

次に議案第19号「令和3年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」、提案理由の説明をお願いいたします。

教育指導課長兼
教育研究所長

令和3年度に使用する小学校の教科用図書についてお願いいたします。

小学校教科用図書につきましては、無償措置法施行令第14条により、令和2年度から令和5年度まで4年間は継続して同一の教科書を採択しなければならないこととされています。昨年度から本年度に関しまして発行者等の問題もなく教科書が配付されており、来年度は2年目でございますので、令和3年度の小学校教科用図書につきましては、今年度同様に次のように報告させていただきます。

国語「東京書籍」、書写「東京書籍」、社会「教育出版」、社会地図「帝国書院」、算数「啓林館」、理科「啓林館」、生活「東京書籍」、音楽「教育出版」、図画工作「開隆堂」、家庭「東京書籍」、保健「東京書籍」、外国語英語「三省堂」、特別の教科道徳「学研教育みらい」、以上でございます。

内田教育長

ありがとうございます。

説明が終わりました。ただいまの提案につきまして、審議に入ります。御質問あるいは御意見があればお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

—特になし—

内田教育長

それでは、採決に移りたいと思います。

議案第19号「令和3年度に使用する小学校の教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することでよろしいでしょうか。

—異議なし—

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

続いて、議案第20号「令和3年度に使用する学校教育法附則

教育指導課長兼
教育研究所長

第9条による教科用図書の採択について」、提案理由の説明をお願いいたします。

令和3年度 附則第9条本についてですが、他の教科用図書と大きく性格が異なるものでございます。

ここで説明させていただきます教科書は、主に特別支援学校(養護学校)及び特別支援学級(障害児学級)で学習をしております児童・生徒が使用するものであります。児童・生徒によっては、知的発達の違いや、障害の状況によって、在籍する学年の教科書は、その児童・生徒の日頃の学習活動に沿わない場合がございます。

こうした、状況の児童・生徒に対しまして、特別に編集されたものや一般図書を提供して、その児童・生徒の状況に合わせた教科用図書の使用を認めるものでございます。

手続き的には、小中学校の特別支援学級の担任が保護者と話し合い、必要があれば、保護者の了解を得て、児童・生徒の実態と共に必要な図書を選定し教育委員会に書類で報告をいたします。

これを受けまして、選定した図書が、本当にその児童・生徒の教科用図書としてふさわしいかどうか、教育委員会の指導主事が確認をいたしまして、資料を作成いたしました。

この資料をもって、教育委員会会議で承認された場合には、児童・生徒が来年度使用できる教科用図書に認定され、来年4月に供給されることとなります。

以上です。

内田教育長

ありがとうございます。

説明が終わりました。それでは、審議に入ります。御質問、御意見があればお願いしたいと思います。よろしいですか。

—特になし—

内田教育長

それでは、採決に移りたいと思います。

議案第20号「令和3年度に使用する学校教育法附則第9条による教科用図書の採択について」は、原案のとおり決することで御異議ございませんでしょうか。

—異議なし—

内田教育長

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

そのほか何かありますでしょうか。特によろしいですか。事務局の方もよろしいですか。

—特になし—

内田教育長

それでは、長時間にわたり御審議いただきまして、ありがとうございました。

以上をもちまして臨時教育委員会会議を終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。